

令和2年度 事業報告

I はじめに 新型コロナウイルス感染症拡大の対応について

公益社団法人千葉県労働基準協会連合会(以下、「当連合会」という。)は、行政当局のご指導の下、地区労働基準協会(以下、「地区協会」という。)、関係機関・団体との連携・協力をより深め、千葉県内の労働者が安心して安全かつ健康に働ける職場環境の実現を目指して、働き方改革を推進するための啓発事業をはじめ、安全衛生関係講習等事業、労働問題相談センター事業、千葉県産業安全衛生会議の運営等を年間事業計画に基づき積極的、効果的な事業の運営に努めました。

ところが、令和2年1月に国内初の症例が確認された新型コロナウイルス感染症は、その後同年3月に第1波の流行が始まり、令和2年4月7日には千葉県にも緊急事態宣言が発令され同年5月25日に解除されましたが、令和3年1月7日に再度緊急事態宣言が発令され、同年3月21日に解除されたものの収束の見込みが立たない状況にあります。

当連合会としては、行政当局、関係機関・団体、近県の労働基準協会連合会等とも連携を図りながら各種感染症対策に取り組みました。特に、講習等事業については、受講者、講師、職員ら関係者の健康の確保を第一に、感染症対策に取り組み、いち早く、令和2年2月下旬には酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者技能講習の中止を決め、令和2年4月8日から同年5月31日までの講習等を全て中止しました。令和2年6月の再開以降は、受講者定員の削減をはじめ各種感染症対策を徹底した上で、受講者の要望に応えるべく、臨時講習、出張講習等の追加講習を実施しました。

II 新型コロナウイルス感染症拡大の影響(以下、「コロナ禍」という。)による各種事業等の中止等

① 講習等事業

- ・令和2年4月8日から同年5月31日までの技能講習、養成講習、教育等の中止(計18回)
- ・講習等受講者定員の削減(通常定員100名を令和2年6月再開時は60名、同年8月から80名)
- ・講習等申込者数は、対前年度比で22%減少(令和2年度7,518名、令和元年度9,609名)

② 千葉県産業安全衛生会議

- ・千葉県産業安全衛生大会(令和2年10月2日)の中止
- ・年末年始無災害運動安全パトロール(令和2年12月)の中止

③ 千葉県衛生管理者協議会

- ・第1回例会(令和2年9月)の中止

④ 全国労働基準関係団体連合会(全基連)千葉県支部事業

- ・外国人技能実習制度関係者養成講習事業(令和2年8月31日から同年9月3日まで4コース)を計画どおり開催しましたが、受講者数は対前年度比で77%減少(令和2年度45名、令和元年度195名)

⑤ 中央労働災害防止協会(中災防)関連事業

- ・全国産業安全衛生大会 in 札幌(令和2年10月7日から9日)の中止
- ・中災防主催、当連合会共催の次の研修等について、受講者数は対前年度比で68%減少(令和2年度71名、令和元年度225名)

セミナー、研修等の名称	令和2年度	令和元年度
経営幹部のための安全衛生セミナー	6/5 中止	6/3 43名
安全衛生スタッフ向けリスクアセスメント研修	7/17 12名	3/6 中止
KYTトレーナー研修（1回目） （2回目）	8/4-5 29名	8/1-2 79名
	11/5-6 30名	11/7-8 84名
事業場内メンタルヘルス推進担当者養成研修	12/9-10 中止	9/9-10 19名
年間 開催回数、受講者数の計	3回 71名	4回 225名

⑥ 会報「千葉労基連」の発行

- ・会報「千葉労基連」の発行を年8回から6回(奇数月)に削減

III 実施事項

1 安全衛生関係技能講習・教育等の適正な実施

- ① 各種技能講習の適正、円滑な実施に努めました。また、各種安全衛生教育等の内容の充実を図るとともに、コロナ禍で中止となった講習の振替、料金返還など受講者への影響を少なくする対応に努めました。

令和2年度の講習等の申込者数は、別表「令和2年度安全衛生関係講習等実施状況」のとおり、コロナ禍による開催中止等により、講習等申込者数は、対前年度比で技能講習19%減少(令和2年度6,560名、令和元年度8,053名:1,493名減少)、養成講習37%減少(令和2年度495名、令和元年度788名:293名減少)、その他講習40%減少(令和2年度463名、令和元年度768名:305名減少)、総計22%減少(令和2年度7,518名、令和元年度9,609名:2,091名減少)と各講習とも大幅な減少となりました。

なお、平成元年度も、度重なる台風の影響で開催中止があり、2年連続の減少となりました。

- ② 公益社団法人として、コンプライアンスに留意し、適正な講習等の実施に努めました。
- ③ 技能講習実施管理者、講師の適正配置に努めました。
- ④ 技能講習修了試験問題をテキストの改訂等に合わせて見直しました。
- ⑤ 受講者の利便性を考慮して、全ての講習を年2回以上計画しましたが、コロナ禍による中止等により、年1回開催となったものも生じました。
- ⑥ 法令改正により金属アーク溶接等作業について、特定化学物質作業主任者の選任が必要となったことから、特定化学物質及び四アルキル鉛等作業主任者技能講習の受講者が増加したことから、臨時講習、出張講習等の追加講習を開催しました。

2 労働問題相談センターの活性化

地区協会の協力の下、労働問題相談センターを開設し、無料相談を実施しました。

コロナ禍による雇用環境悪化に伴う相談の増加がある一方で、来所しにくいなどにより減少することもあり、対前年度比で3%増加(令和2年度279件、令和元年度270件)となりました。

また、相談センター事業が会員サービスや会員拡大に繋がるような観点から、地区協会と連携を図りながら、地区協会のホームページを活用するなど広報に努めました。

なお、個別相談に当たり、引き続き、迅速、丁寧、適切な回答に努め、利用者第一に考えた対応を心掛けました。

3 千葉県産業安全衛生会議の適正な運営

- ① 第1回千葉県産業安全衛生会議(令和2年6月9日)
令和元年度の事業実施報告・収支決算書、令和2年度の事業実施計画(案)・収支予算書(案)の承認等を審議しました。
- ② 千葉労働局健康安全課発案による「安全衛生担当者支援ツール(動画と自己啓発シート)」を、全国安全週間中に千葉県産業安全衛生会議の名で当連合会ホームページ等を通じて、利用を呼び掛けました。
- ③ 第2回千葉県産業安全衛生会議(令和2年8月25日)
令和2年10月2日開催予定の千葉県産業安全衛生大会について、コロナ禍により中止することを決定しました。
- ④ 令和2年度年末年始無災害運動について、安全パトロールが中止となったことから、毎年作成・配付の広報用のちらし、ポスターの他に、千葉県産業安全衛生会議の名入りののぼりを作成し、構成員の他に地区協会、労働基準監督署にも配付して周知を図りました。

4 千葉県衛生管理者協議会の充実

会員の増強について、当連合会ホームページによる募集のほか、勧誘チラシを衛生管理者受験対策実践講習、衛生管理者能力向上教育、衛生推進者養成講習など関係する講習・教育時に配布、千葉産業保健総合支援センターなど関係機関での配布などにも努めました。

令和2年度第1回例会(9月)をコロナ禍により中止しましたが、第2回例会は令和3年3月1日に千葉県経営者会館で約23名が参加し、田原さえ子氏(田原労務管理事務所:労働衛生コンサルタント・特定社会保険労務士)による「職場におけるハラスメント防止について ―パワーハラスメント防止の法制化をうけて―」と鶴岡寛子氏(古河電気工業株式会社 千葉事業所 保健師)による「あなたとあなたの大切な人へ「ご健康に!」そして、ご健幸に! ―産業看護の視点から―」と題した講演を行いました。

なお、新型コロナウイルス感染症対策などの情報をメールで会員に発信しました。

5 働き方改革の推進に係る連携協定事業

一般社団法人千葉県経営者協会、千葉県社会保険労務士会及び当連合会の三者共催による「労働法フォーラム」を令和2年10月21日に実施しました。多様で柔軟な働き方、ハラスメント、同一労働同一賃金の3テーマについて弁護士による講演を行い、テーマごとの延べ参加者は約250名となりました。

また、「働き方改革推進相談窓口」を千葉県社会保険労務士会事務所内に開設して広報に努めました。

6 全国労働基準関係団体連合会(全基連)千葉県支部事業の適正実施(受託事業)

- ① 外国人技能実習制度関係者養成講習
監理責任者等講習、技能実習責任者講習、技能実習指導員講習、生活指導員講習の4コースの養成講習を開催(令和2年8月31日から同年9月3日までの4日間、延べ45名参加)。

- ② 分かりやすい労働条件セミナー(大学生・高校生対象)
高校2校、大学1校の3校でセミナーを実施(令和2年11月5日から令和3年2月12日の間に、延べ327名参加)。
- ③ 同一労働同一賃金の最高裁5判決を 水町教授が読み解く緊急セミナー
全基連主催、当連合会共催により、初めてのリアル・WEBセミナーを開催しました。令和2年10月21日に会場でのリアルセミナー、同時配信のライブ方式及び録画配信のオンデマンド方式の3方式により行い、申込者数は全国で約2,500名となりました。
- ④ 外国人在留支援センターにおける外国人特別相談・支援室(安全衛生班)の業務
全基連から新規事業の協力要請に応じ、安全衛生班の利用勧奨、広報を行いました。

7 中央労働災害防止協会(中災防)関連事業への参加

(1) 委託、共催事業の適正な実施

- ① 中小規模事業場安全衛生相談事業
中小規模事業場の安全衛生水準の向上に寄与するため、電話、メール、来所等による安全衛生相談を日常的に実施(相談件数約130件)
- ② セミナー、研修会等
 - ・中災防主催、当連合会共催の研修等について、受講者数は対前年度比で68%減少(令和2年度71名、令和元年度225名)

(2) 中小企業無災害記録証、広報啓発事業

- ① 中小企業無災害記録証
無災害表彰等により、安全衛生活動の底上げにつながるよう制度の周知に努め、令和2年度には、次の7事業場に授与されました。

・株式会社鈴徳 船橋営業所	努力賞(第一種)	令和2年8月授与
・フェニックスメタル株式会社	努力賞(第一種)	令和2年9月授与
・株式会社JFEメカフロンティア千葉	進歩賞(第二種)	令和2年9月授与
・三和機工株式会社 東京支店・千葉工場	進歩賞(第二種)	令和2年12月授与
・セブンスデー・アドベンチスト教団食品事業部三育フーズ	努力賞(第一種)	令和2年12月授与
・株式会社コヤマ	金賞(第五種)	令和2年12月授与
・高級アルコール工業株式会社 第二工場	努力賞(第一種)	令和3年3月授与

- ② 各種広報啓発事業
全国安全週間、全国労働衛生週間、年末年始無災害運動等、中災防が主体的にかかわる事業に対し、広報啓発等を積極的に推進しました。

8 広報の手法、内容の充実

当連合会ホームページのリニューアルを行い、より見やすい内容に変え、行政からのお知らせなどを随時掲載するなど情報発信の充実に努めました。

なお、会報「千葉労基連」は、昭和34年6月創刊の「千葉労基ニュース」から通算で600号を令和3年3月に達成しました。

9 当連合会等組織の基盤強化

- ① 当連合会の賛助会員数は、次表のように令和3年3月31日現在で3会員の減少(令和2年度277, 令和元年度274)しました。

なお、地区協会は会員の減少傾向が続いており、地区協会全体で58会員が減少(令和2年度4,942、令和元年度5,000:58減少)しました。

組織の根幹ともいふべき会員の長期間にわたる減少に歯止めをかけるべきとの認識に立ち、当連合会、地区協会が連携して会員減少対策に取り組みましたが、コロナ禍による景気悪化により減少傾向に歯止めがかかっていません。

(会員の異動状況)

平成元年度末 賛助会員数	令和2年度中の異動数						令和2年度末 賛助会員数		
	入会			退会					
277	3			6			274		
地区協会 賛助会員数	千葉	船橋	柏	銚子	館山	君津	茂原	成田	東金
令和元年度末	100	38	35	11	8	24	12	19	30
令和2年度末	97	39	35	11	8	24	12	18	30
令和2年度末 地区協会会員数 (4,942)	803	1,013	787	437	433	364	340	363	402

- ② 公益社団法人として、安定的に継続的に公益事業をしていく必要から将来的な経費の低減を図るため、事業運営安定化基金取扱規程、講習会館等確保整備基金運用規程、千葉労基連講習会館(仮称)建設計画に基づき、基金への積立をすることとしていますが、コロナ禍による収入の激減により、積立を中断せざるを得ない状況となりました。

IV 会議報告

1 定時総会

令和2年5月21日(木) 千葉県経営者会館

(来賓挨拶、表彰式等を省略して、短時間小規模で開催)

2 理事会

第1回 令和2年4月23日(木) (書面による「みなし決議」)

第2回 令和2年5月21日(木) 千葉県経営者会館

第3回 令和2年11月16日(月) 千葉県経営者会館 (会場変更)

第4回 令和3年3月18日(木) 千葉県経営者会館

3 地区協会事務局長会議

第1回 令和2年11月24日(火) 千葉県経営者会館